

# 日本切手 2009 年の発行状況

ワケのわからなくなるほどたくさんの切手を発行してくださる郵便会社。今年1年の発行状況がどうなってるか、整理してみた。

## 発行件数・種類

41 件 (普通切手 1 を含む)

353 種 (小型シート 2 を含む)

種類別発行数 (日本切手カタログ分類)

特殊切手 20 件 196 種 ふるさと切手 19 件

152 種 年賀切手 1 件 4 種 (お年玉小型除く)

普通切手 1 件 1 種

発行内容を見るとシリーズ切手が圧倒的に多く全体で 153 種を占め、全体の 43% に達し、ふるさと切手では 81% がシリーズ切手であった。また、特殊切手では手紙、郵便利用促進を図る意味のふみの日、グリーティング切手が 46 種、23% 発行されていた。また、変形切手が 2 種、シール切手が 25 種発行されていた。

## 切手額面別発行種類

金額	50	80	90	110	130	160	300	53	55	83	総計
ふるさと切手	37	115				小型シート		寄付金付			152
普通切手							1				1
特殊切手	15	166	1	1	1	2			10		196
年賀切手	1	1						1		1	4
全体	53	282	1	1	1	2	1	1	10	1	353

## 印刷方式・印刷機関 (銘版)

残念ながら凹版の切手は発行されず、オフセット、グラビアのみであった。ふるさと、特殊切手で印刷方式割合に差が見られ、特殊切手は 85% がオフセットであった。

種類	オフセット	オフセット・エンボス加工	オフセット・ホログラム	グラビア	グラビア・凸版	総計
ふるさと切手	77			75		152
普通切手				1		1
特殊切手	151	10	4	31		196
年賀切手				2	2	4
全体	228	10	4	109	2	353

印刷機関	オフセット	オフセット・エンボス加工	オフセット・ホログラム	グラビア	グラビア・凸版	総計
Cartor Security Printing	199	10				209
国立印刷局				109	2	111
凸版印刷	29		4			33
全体	228	10	4	109	2	353

これを印刷機関で見ると 65% がフランス Cartor Security Printing で印刷され、しかも、シール切手、ホログラム切手を除くすべてのオフセット印刷切手がフランスで印刷されているという、昔を思うと信じられない現状であった。

## 購入必要金額

総額 26846 円

特殊切手 15230 円 ふるさと切手 11050 円

普通切手 300 円 年賀切手 266 円

1 枚ずつ集めても、かなり負担が増している。

更に、シート余白デザイン等を気にして、国体切手、開港 150 年、切手趣味週間、皇室関連等で重複する切手の存在を無視してシートで購入したとすると、更に 3110 円余分に強いられ 29956 円が必要になる。

## 発行枚数 (万枚)

種類	合計	平均	Max	Min
ふるさと切手	31000	203	400	100
特殊切手	40750	208	1200	100
年賀切手	4105	1026	2200	185
全体	75855	216	2200	100

最多枚数：ふるさと切手の 400 万枚は花シリーズ切手の 10 枚、特殊切手は皇室関係を除くと赤

十字 150 年切手の 750 万枚であり、ふるさと切手発行枚数が特殊切手と差がなくなっていく傾向がみられた。

## ふるさと切手のふるさと

ふるさと切手の発行が整理されて 2 年目、ふるさとを偲ばせてくれる

切手がどのように発行されたかをみると、非常に偏ったものであった。5 つの都県でふるさと切手の半数以上の 79 種類が発行されているのに、14 府県が 1 種類、9 県 (青森、秋田、福島、埼玉、富山、三重、徳島、香川、福岡) にいたっては発行が無いという状況であった。更に、50 円と 80 円切手が両方発行された県は 15 都府県のみということではふるさと切手を使用するの便りを出したくとも、出せない現状である。これだけ多く発行されるふるさと切手、47 都道府県、年間に新しい 50、80 円切手をせめて各 1 種類は手紙に貼れる気配りぐらいは欲しいものである。

(編集子)



Cartor Security Printing  
オフセット印刷  
国土緑化 キタコブシ

左 凸版印刷株式会社  
オフセットホログラム  
南極・北極の極地保護  
ホッキョクギツネ